

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2024～2025年度 No.306

6 月報

那須クラブ会長 主題

ユースと共にミッションを



強調月間：YMCAサポート
評価
次年度計画

今月の聖句 ヨハネによる福音書 17：21

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしの内にいるようにしてください。(後略)

6月第1例会(ユースリーダーとの懇談会・次年度計画)

日時：6月19日(木)午後7時～

場所：日本基督教団 西那須野教会 1階ホール

内容：ユースリーダーとの懇談をして、次年度に向けて、YMCA並びにユース活動に対して、ワイズがどのようなサポートができるかを考える機会とする。

司会 担当主事 武田 将吾

開会点鐘・挨拶 会長 田村 修也

ワイズソング斉唱

ワイズの信条の斉唱

聖書朗読・祈禱 副会長 村田 榮

ゲスト・ビジター紹介 会長

食前祈禱 原田 明子 メン

会食 食事の準備は、西那須野教会の古川さん、高久さんに準備をいただきました感謝します。

自己紹介

ユースリーダーとの懇談会

質疑応答

報告事項 YMCA・ワイズ

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘 会長 田村 修也

会費 メン・メネット 1,000円 ゲストは無料

2024～2025年度 主題

国際会長：(IP) A・シャナヴァスカーン(インド)

「より良い世界のために、共に」

アジア太平洋地域会長：(AP) ジョウン・ウォン(香港)

「大きなインパクトを起こそう」

東日本区理事：(RD) 山田 公平(宇都宮)

「ワイズの方向性を見極める」

北東部長：大久保 知宏(宇都宮)

「戦略2032を意識して」

クラブ役員

会長：田村 修也

副会長：村田 榮

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：武田 将吾

ブリテン：田村 修也・村田 榮

5月例会データー(出席率：66.7%)

メンバー3名、メネット2名、ゲストスピーカー1名、
ゲスト14名、(広義会員1名)
メイキャップ1名

6月 Happy Birthday

7月例会(会長交代式・事業報告・事業計画)

日時：7月19日(土)正午～

場所：中華料理 龍鳳園

第20回とちぎYMCAチャリティーラン

日時：6月29日(日)午前9時～

場所：道の駅うつのみやろまんちっく村 にぎわい広場

8月第2例会(役員会)

日時：7月10日(木)午後4時30分～

場所：田村メン宅

温故知新 先人たちの足跡をたどる

那須ワイズメンズクラブは1995年9月に設立されました。初代会長はアジア学院の創設期のスタッフである安井武雄さんでした。最初の資料が殆ど見当たりませんので、残念ながら当時をたどることが出来ません。安井さんは、現在では転居されて宇都宮クラブで活動されております。

二代目の会長は一木慎司さんです。一木さんは1957年にシャープ株式会社大阪本店に入社され、1973年シャープが拠点を矢板市に移転することに伴って、那須の地に転居されました。主にテレビ・ビデオ等の技術業務を担当し、特にビューカムの開発の中心的な役割を果たしました。

1999年9月末日をもってシャープのAVシステム事業本部生産技術部長職を最後に退職されました。転居以来西那須野教会に転籍され、教会役員そして教会学校教師等を歴任されました。1995年に那須ワイズメンズクラブの設立に加わり、チャーターメンバーになり、1996年にはクラブ会長に就任されました。この年に那須YMCAが設立され、宇都宮に栃木県で初めてのとちぎYMCAが設立されて以来20年の祈りが実りました。この間、設立時の井口延総主事に依頼して、将来必ず県北部にランチが出来るから、その準備として、当時YMCA同盟で出版している図書全部を西那須野図書館に寄贈して頂きました。また、年に1回は西那須野教会を会場にYMCAの説明会を開きました。この結果、福本牧師、高見アジア学院校長、エルム会楡井先生はじめ10名近い教会員がとちぎYの会員として、また役員として活動に参加致しました。また、那須Y、ワイズの事務所はエルム作業所の2階を楡井先生が無償で提供して下さいました。1997年7月号のブリテンには、一木会長が「那須YMCA設立総会に思う」という題で巻頭言を書いています。「97年7月は、ワイズメンズクラブの新年度のスタート月であり、前年度まで指導頂いた東部部会より離れ発展的に9つのクラブが新たにニュー北東部としてスタートします。この記念すべき節目の月でもあります。更に、この時期、栃木県に新たに二つのYMCAランチが誕生します。一つは宇都宮YMCA（宇都宮東クラブが支援）です。お互いに地域社会に密接して、支援活動ができる基盤が整った中でスタートする事です。これからは、地域社会に向け、YMCAのプログラムを一つ一つ提案し、具体的に広げていかなければなりません。これからが本番です。このような状況の中にあって、私が那須ワイズメンズクラブの会長を預かる事になりました。少し戸惑いも有りますが、栃木YMCAの芳賀総主事、藤生連絡主事の指導の中、志を同じく持つものは集まり、那須クラブの会員のYMCAの維持会員勧誘に、多くの協力して頂ける人が集まりました。更に、活動の拠点とする場所を、エルム会の楡井兄が快く提供して頂いた事等、一挙に設立の機運が高まり、本当に手作りの味がする準備会を体験したことも重なり、前向きにやるしかない！が今の心境です」。そして、2002年には東日本区北東部部長に就任され、私は書記をさせて頂きました。この年にはアジア学院とふれあいの丘を会場に、北東部会を開催致しました。翌2003年には山中湖センターでのユースボランティアリーダーズフォーラムの実行委員長を務めました。2002年に直腸がんを患い、3回にわたり手術を行い、最後は済生会のホスピスに入院して闘病されていましたが、2007年5月27日に主のもとに召されて参りました。68年のご生涯でした。私たちも、先達たちの祈りのバトンをしっかりと受け継いで、今年度の歩みも進めて参りたいと願うものであります。



5月例会（パイプオルガンに学ぶ）於：日本キリスト教団西那須野教会 2025.5.28

5月例会(パイプオルガンに学ぶ)報告

日時：2025年5月28日(水)午後2時

場所：日本キリスト教団 西那須野教会

出席者：田村、村田、原田、の各メン、田村、村田の各メネット、ゲストスピーカー1名、ゲスト164名：計22名



5月例会は、恒例となった植樹例会を行う予定であったが、あいにくの雨のため急遽中止となった。そのため、代替えのプログラムと

して、木村真喜子先生を迎えて、「パイプオルガンに学ぶ」と題して行うことになった。

急遽お願いをした講師の木村先生には準備の時間もなく失礼なことをいたしました。書面でのお詫びをいたします。



西那須野教会にパイプオルガンが導入されることになった経緯や、構造をまじかに見ながらの説明に参加者は大満足をいたしました。

その上に演奏を楽しみ、アンコールまでしていただきました。木村真喜子先生には、感謝、感謝です。

講演が終わった後には、喉の潤す、西那須野教会の潘牧師のお手製のコーヒーとアイスクリームをいただきました。

第2例会(役員会)報告

日時：4月24日(木)午後4時30分から

5月22日(木)午後4時30分から

6月19日(木)午後6時から

場所：田村会長宅、西那須野教会

出席者：田村、村田、武田各メン、田村、村田メネット

1. 次年度役員の体制について

会長は村田、副会長は田村、書記は藤生、会計は鈴木、補佐を村田で行う。ブリテン担当として田村副会長に原稿依頼をしていただく。

2. 5月例会について

5月12日(土)午前10時より、植樹例会を行う。雨天のために中止となった。

代替えの5月例会を5月28日(水)午後3時から、西那須野教会で行う。パイプオルガンに学ぶとし、木村真喜子先生による、お話と演奏を楽しむ会とする。ポスターを3枚作製。謝礼は10,000円と

する。

3. 第28回東日本区大会参加について

田村夫妻、原田メン、村田夫妻の5名で参加する。那須クラブとして、シイタケ昆布の販売を行う。

4. 6月例会(ユースリーダーとの懇談会・新年度に向けて)について

6月19日(木)午後7時から西那須野教会をお借りして行う。食事の準備を西那須野教会の古川姉と高久姉にお願いする。村田がお米とじゃがいもと玉ねぎは提供する。出席者の確認は、6月15日。

5. 7月例会について

7月19日(土)のお昼に行う。場所は、中華料理龍鳳園。

会場の予約は、田村メネットの依頼。会費は3,000円。リーダーにも参加を呼び掛ける。入会式を行う。張メンは、広義会員として申請を行う。

6. 8月役員会について

7月10日(木)午後4時30分より、田村副会長宅にて開催する。次年度計画について

7. 8月例会について

8月23日(土)に行う。河野さんの受賞のお祝いを兼ねる。記念品は、原田メンに一任。リーダーの参加も歓迎。

シイタケ昆布の販売について

東日本区大会と6月29日(日)に行われるとちぎYMCAチャリティーランで販売。7月に入ると次の注文を行う。7月19日の例会時に配布できるようにする。

開拓と信仰の姿「開拓と西那須野教会」-(8)

会長 田村 修也

弥三郎が金井之恭から那須開墾社の株を譲渡してもらった経緯に付きまして触れさせていただきます。なぜ金井之恭が那須開墾社の株を持つに至ったかですが、那須開墾社の概要は、近隣農村の有力者及び周辺村民の代表を以って組織され、株数二百株、後に二百三十株に増資され、一株金額四百五十円、十五年年賦払込みということでした。(下野新聞社発行の下野世相史によりますと、当時の大工手間が一日二十五銭とありますので、単純に換算すると、1800万円になり、相当の額であったことが想像できます)。

その後、農村は深刻な不況に見舞われ、株金の払い込みも計画通り進まず、開拓事業に支障を来すに至ったため、印南さんと矢板さんは大いに苦慮して、やむを得ず在村株主の株を買い戻し、これを持って東京に行き、在京の有志を訪ねて、引き受けを懇願して廻りました。金井之恭もまた当時政府の要

職にあったので、株数15株とこれに伴う土地約120町歩を持つことになりました。

この広大な土地を管理するため、之恭の親戚に当たる井上寛二という人が移り住んでいました。弥三郎は北海道行きの途中、西那須野駅に下車して井上を訪ね、北海道行き話をしたところ、井上もまた明治10年頃アメリカに渡り、農業の勉強をしてきた人ですが、井上は、「北海道まで行かなくとも、ここにこんなに広い土地があるではないか」と薦められたようで、弥三郎は、北海道視察を中止して帰宅し、早速親戚の金井之恭を訪ねて土地の分譲を依頼したところ、金井も快諾して、那須開墾社株2株と、これに付随する土地、二区地内に12町歩と千本松共有地内に10町歩を、代金三百円で譲り受けることとなりました。

こうして那須野が原移住の基盤が出来たので、明治23年11月9日、36歳の弥三郎は16歳の長男の董、13歳の次男真澄、と雇い農夫の飯塚庄蔵を伴って島村を出発しました。妹ヒサの夫源三郎も同行しました。島村教会史には「会計吏、田島弥三郎は開拓事業のため、下野国那須へ明10日に出発するので、礼拝後、送別祈禱会を会堂で開いた。」とあり、教会員の厚い祈りを以って、暖かく前途を祝福されて那須野ヶ原に旅立ちしたことがわかります。

明治23年(1890)11月10日、田嶋弥三郎は奥さんと娘さんを島村に残して、董、真澄、飯塚と共に、西那須野駅に下車し、その夜は那須開墾社に宿泊し、翌日からは、開墾社の印南文作社長の住宅が空いていたので、それを借りて仮宿泊所として、住宅建設そして原野の開拓に着手致しました。弥三郎は聖日には仕事を止めて家庭礼拝を行い、聖書と注解書を座右の友として常に祈りながらキリスト教信仰の孤塁を守りました。

弥三郎が住居として定めた所は西那須野村二区地内で、大雨等に際して出水を避けられるように、なるべく高いところを選びました。さすがに利根川筋で育っただけのことはあります。

たまたま松ノ木が一本生えているのを見て、これを拠点として最初の鋤を下ろしたそうです。私もこの松は知っていますが、相当な太さで、開拓創業のいい記念となっていました、残念ながら枯れてしまいました。序ですが、この松ノ木にも雷が落ち、被害を受けましたが、那須山や高原山から襲ってくる雷には相当悩まされたようです。

(以下次号へ続く)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園

西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光夫

先日、友人が仕事のついでに訪ねて来てくれました。彼は、介護福祉士の資格はありますが、介護職よりも収入が多いとのことで、数年前にフード・デリバリーの仕事に転職されました。今は、術後のリハビリ中で、個人利用者が多く、軽めの荷物が主の某大手ネット通販の商品のみを1日140個ほど宅配しているとのことでした。

私は、「コース決めとそれに合った荷物の積み方の順番が大変ですね」とねぎらいますと、「いや簡単です」との返答に驚きました。彼によると、AIが、配送ルートを決め、それに基づいた1~140までラベルを荷物に貼ります。後は、荷物をシール番号の降順に積み、スマホのドライブ・ナビゲーションに記された番号に添って届けますとのことでした。彼は、何度か配送時間短縮を試みてコースを変更したところ、AIが決めたコースが早かったそうです。「AIは、すごいです。運転が出来れば、誰でも配送の仕事が出来る時代になりました」と話してくれました。

私も、最近、生成AIの1つをスマホで使い始めました。調べ事や流行の写真をジブリのアニメ風に変換して利用しています。質問への回答の迅速さと妥当性に驚き、アニメ化された人物の変化や間違いも微笑ましく感じています。

さて、AIが人間を越える「シンギュラリティ」が、2045年という仮説があります。また、オックスフォード大学のマイケル・オズボーン教授らは、12年前に「AIの発達により、後10年から20年の間に、今ある仕事の47%は、機械化される危険がある」と発表しました。先ほどの宅配の例など、AIの加速度的進歩には、目を見張るものがあります。

将来の仕事は、機械がする仕事、誰でも出来る仕事、そして、専門職の3つに大別され、専門職のなかでも人を相手にする仕事は残るのではないかと考えられています。今は想像できないような新しい仕事も生まれる事と思います。今の子ども達は、どんな仕事に就くとしても、非認知スキル(折れない心、自己統制力、価値観の違う人と一緒にやっていく力等)が更に求められます。その力を培うベースが、幼児期の遊びです。新入園児も遊具のオリエンテーションを終えて、屋内だけでなく、園庭での遊びも展開しています

(しらゆり5月23日加筆修正)。

アジア学院たより

学校法人 アジア学院
アジア農村指導者養成専門学校
常務理事 荒川 朋子
豊かな「喜ばせごっこ」

「アンパンマン」の作者、やなせたかしさんと暢さん夫婦をモデルにしたNHK連続テレビ小説「あんぱん」が放映中だ。どんな人生を歩むべきか悩み苦しむ青年・崇（やなせたかしさんがモデル）に、親代わりとなって崇を育ててきた伯父が「何のために生まれて、何のために生きるのか」を存分に悩んで考えろと促す場面が幾度となくあった。

あの有名な「アンパンマン」の主題歌のフレーズだ。子ども向けのアニメのテーマソングにそんな哲学的な問いをするなんて、初めて聞いた時はとても驚いたが、改めてその問いをドラマの中で聞き、いったいどんな答えが出てくるのか気になっていた。すると一浪の末、高校の合格発表の場で合格を喜ぶ崇に、伯父が「わしは思うがよ。それは人を喜ばせることや」「人生は喜ばせごっこや」と言った。なんといい答えだろうと胸が熱くなった。自分の体が痛んでも弱っても、ひもじい人や困っている人に喜んで分け与え、与えたことで再び新たな力（新しいパンの顔）を与えられていくというアンパンマンの哲学と重なっているのは明らかだ。

人を喜ばせることはいいことだし、それによって自分も幸福感を味わうことができる。異議を唱える人はいないだろう。しかし、それを自分の人生の意味と断言できる人はどれだけいるだろう。崇が悩んでいたのもそこだと思う。自分は心から楽しめてやりたいと思うことがある。でも、人生とは、立派な学校に入り、立派な職業に就き、世間から認められる一人前の大人として人生を歩むことであり、その道をどうしても歩む気になれない自分を駄目な人間だと責め続ける。

人を喜ばせることが人生の意味であるのなら、喜ばせ方は何通り、何万通りもあるはずだから、意味ある人生だって何万通りもあるはずだ。そもそも、何もできない赤ん坊が、そこにいるだけで周りの大人たちを幸福感で満たしてくれるのはなぜか。それはその存在自体に価値があるからに違いない。私たちはまず、何もしなくても、生きているだけで価値があるのだ。そこから死ぬまでに人を喜ばせるためにできることは限りなく多い。

立派に生きていると胸を張っている人も、ぱっとしない人生を送っていると思っている人も、「人を喜ばせる」という物差しで自分の人生の意味を測り直してみたらどうだろう。

哲学者アルフレッド・アドラーは他者と結びついていることを意味する「共同体感覚」を重要視し、「生きる喜びや幸福は他者との関係からしか得ることはできない」と言った。他者との関わり合いを避けて、豊かな「喜ばせごっこ」の中で、自分も他者も幸福度を増していく。それ以上に私たちの人生に何がいったい必要だというのであろうか。

（上毛新聞 視点「オピニオン 21」2025 年 5 月 23 日掲載）

YMCAだより

【北関東YMCA赤城プレキャンプを実施しました】

5月4日（日）～6日（火）ぐんまYMCA赤城キャンプ場に北関東のYMCAに所属するユースボランティアリーダーが集まり、プレキャンプを行いました。参加したYMCAは、ぐんま・茨城・埼玉・千葉・とちぎで、近隣YMCAと交流をすることと子どもたちとキャンプを行う以前に YMCA のキャンプを「知る」ことを目的に行っています。赤城プレキャンプでは、とちぎを飛び出したリーダーたちにとって、たくさんの学びや発見、気づきや出会いがありました。3日間で得た多くのものとちぎYMCAのプログラムに活かしていきます。



【とちぎYMCA・那須YMCAの6月の予定】

- ・6/1（日）とちぎYMCA座学リーダートレーニング
- ・6/7（土）とちぎY野外クラブ（小学生）6月活動 @馬頭農村塾
- ・6/22（日）とちぎYMCAサッカーフェスティバル2025 @井頭公園（真岡市）
- ・6/29（日）第20回とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン2025

ユースリーダーのつぶやき

お休みさせていただきます。